



# みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝「①つくしくまわりを ②がおてあいさつを ③ちんとくつならべ」

令和6年度 第21号  
熊本市立植木小学校  
令和6年6月25日  
校長 東田 昌樹

## いろいろな人がいるからすばらしい

6月25日(火)の「全校朝会」での校長講話を紹介します。

授業中、先生が「 $3+2$ は？」と聞くと、聞いたらすぐに「5」と答えを言ってしまふひろしさんです。ひろしさんがすぐに答えを言うので、まわりの人は発表できなくなってしまう。

「ひろしさんの気持ちがわかる人？」と聞くと、多くの人の手が挙がりました。



それに対して、まわりの人はひろしさんによく「うるさい!」「だまってろ!」と言います。どう思いますか？子どもたちは「よくない」「言い方がきつい」というようなことを口々に言いました。

ひろしさんは、次のように思います。

「ぼくは、すぐに思ったことが口に出てしまうんだよな。」「みんなのためにがまんしなくちゃ。」

ひろしさんだけががんばらなくてはいけないのでしょうか？

思わずしゃべってしまうひろしさんを、まわりの人が助けることはできないのでしょうか？

まず、先生が工夫をしました。今まで「 $3+2$ は？」と子どもたちに問題を出していたのを、「 $3+2$ の答えがわかる人、手をあげましょう。」という言い方に変えました。

そうすると、ひろしさんも答えを言わずに手を挙げやすくなりました。

次に、ひろしさんのまわりの人はどのようにすればいいのかを考えさせました。

「うるさい!」「だまってろ!」と言っていたまわりの人は、思わずしゃべりすぎるひろしさんに対して、どのように声をかけるといいのでしょうか？

近くの人と考えを共有してもらった後、発表してもらいました。

全校のうち、2人に発表してもらいました。「みんなで一緒に考えようよ。」「今は答えなくておこうか。」などの声かけをすればいいということを発表しました。

学校にはいろいろなお友達がいます。

「ひろしさんみたいに思わずしゃべりすぎる人」「みんなの前で発表することが苦手な人」

「外で遊ぶのが好きな人」「一人で本を読むのが好きな人」

「虫が好きな人」「虫が嫌いな人」

「給食をもりもり食べる人」「あまり食べられない人」

いろいろな人がいるから、学校はすばらしいのです。



「多様性を受け入れる学校に」「多様性を受け入れる社会に」という願いを込めて、校長講話をしました。



### 【本校の教育目標】

気づき・考え・行動する自立と共生の力を備えた子どもの育成  
～ どの子も大切にされ、どの子も成長する学校をめざして ～

